

第5回ドッチビー大会開催要項

1. 開催日時

- ・令和5年11月5日（日） 10時開会
※参加チーム数により開始時間を変更する場合があります。

2. 開催場所

- ・湖陵体育センター（出雲市湖陵町板津 137-1）

3. 開催内容

- ・ドッチボールのボールの代わりにフライングディスクを使用する競技。外はナイロン、中身はウレタンでできており、当たっても痛くないので老若男女誰でも気軽にプレーできます（眼鏡をつけてのプレーも可能）。
- ・参加チームをAブロック、Bブロックに分けて予選リーグを行い各ブロック上位チームによる決勝トーナメントで順位を決定します。
- ・1セット7分の3セットマッチで、ゲーム中の交代は不可。
- ・1ゲームに出場するのは8人（子どもだけは不可、最低大人2人が必要）。
- ・ルールは別に定める「島根青協ドッチビールール」に従い競技します。
- ・昼食休憩時間に子どもたち（対象：5歳～小学6年生まで）を集めその場で2チームに分けて本大会とは別に「キッズ大会」を行います。

4. 参加費及び参加チーム数

- ・参加費は無料、組合員及びそのご家族であればどなたでも参加できます。
- ・各支部の参加チーム数の制限はしません（合同チームによる出場も可能）。
- ・昼食弁当は有料です（当日代金引換えで渡す）。

5. 申込期限

- ・令和5年9月25日（月）まで。

ただし、これらの変更については下記の通りとします。

※チーム数の変更 ⇒10月1日の組み合わせ抽選会まで（抽選後は不可）。

※参加人数の変更 ⇒10月20日まで受け付けます。

※弁当数の変更 ⇒10月30日まで受け付けます。

6. 組合せ抽選会

- ・10月1日の「第17回親子しんぼく交流会」終了後に抽選会を行います。抽選会に参加できない場合は、執行部が代行して抽選クジを引きます。

7. 表彰

- ・優勝、準優勝、第3位チームに賞状・賞金を贈る。
- ・また、優勝チームにはチーム集合写真（写真フレーム付）を贈る。

8. 参加賞

- ・参加者全員に参加賞あり。
- ・キッズ大会出場者には、子ども用参加賞を別に用意する。

9. 持参物

- ・室内用シューズ、競技ができる服装、健康保険証（病気・ケガ対応）

10. 問い合わせ及び申込先

（一社）島根県建築組合連合会（担当：村上）

TEL：0852-22-3520 FAX：0852-31-9341

【島根青協ドッチビールール】

- （1）使用ディスクは「ドッチビー235モデル」を2枚使用する（ダブルディスク）。以下、試合ルールはダブルディスクルールを適用する。
- （2）各支部の参加チーム数は制限しない。ただし、同一人物がチームを渡り歩く行為は禁止する。
- （3）チーム統一ユニフォームの着用は自由とする。
なお、主催者がビブスを用意するので、どちらか1チームが着用する。
- （4）コートは「バレーボールコートと同じ大きさ」とする。外野の外枠の制限は設けない。
- （5）1ゲームに出場するプレーヤーは「1チーム8名」（子供だけのチーム編成は無し、最低大人が2名いることとする）とし、ゲーム途中のプレーヤーの交代はできないこととする。ただし、けがやその他の理由により、審判がプレー続行不可能と判断した場合は、交代のプレーヤーを出場させることができる。また、ゲームごとにプレーヤーを入れ替えることができる。
- （6）ゲーム時間は「1セット7分」とし、試合は「3セットマッチ」で行う。1セットごとにコートを入れ替わる。時間内に内野の人数がゼロになったら終了となる。時間は「ランニングタイム」とし、審判が特に時計を止めない限り流しっぱなしとする。
- （7）勝敗の決定は、「時間内に相手の内野に1人もプレーヤーが残っていない状態にするか」または、「ゲーム時間経過後、より多くのプレーヤーが内野に残っているチームを勝者」とする。内野に残っているプレーヤーの人数が両チーム同数の場合は、「内野に残っているプレーヤー同士ジャンケン」で勝敗を決める。

- (8) ゲーム開始に先立ち、各チームは内野・外野のそれぞれの配置人数を決めておく。配置人数は自由だが、内・外野共に1名以上を配置しなければならない。外野は縦方向及び横方向（左右）のどこに何人配置しても構わない。
- (9) ゲームの開始は、審判がディスクをフリップ（コイントスと同じやり方）し、両チームの代表者が「おもて」「うら」のコールをする。コールする順番はジャンケンで決める。フリップを当てたチームはゲーム開始時の自陣コートを選ぶだけで、ディスクは、それぞれのチームが1枚ずつ所有してゲームを開始する。
- (10) アウトとなる場合は、内野プレーヤーがノーバウンドで投げたディスクをキャッチできずに、ディスクが身体、ユニフォーム、その他身に着けている物に触れたあとコートに落としたり、相手に捕られたりするとアウトとなる。ただし、顔や頭に当たった場合はセーフとなるが、自分から顔や頭をぶつけていった場合はアウトとする。また、1人がアウトになった後、コートにディスクが落ちる前に別の1人に当たった時は、はじめに当たった1人だけがアウトになる。なお、内野プレーヤーが一度取り損ねたディスクをコートに落ちる前にノーバウンドで味方のプレーヤーがキャッチしたときはアウトにはならない。
- (11) 外野プレーヤーは相手チームの内野プレーヤーをアウトにすることにより、自分チームの内野に入ることができる（ゲーム開始時に外野にいるプレーヤーも同様）。ただし、外野プレーヤーが相手チームの内野プレーヤーをアウトにしても、「アウトを取ってから内野に入る前にディスクに触れたとき」、または、「アウトを取ってからすぐに自分の内野に入らなかったとき」は、内野に入る権利が消滅する。
- (12) ゲーム中、内外野移動する際は、相手コートを通ることは禁止とする。内外野を移動するプレーヤーが原因で、その相手チームに不利が生じた場合、そのプレーは無効とし、ディスクの所有権は、そのプレー直前の状態に戻される。
- (13) 同一チームでの内野同士のパスをするとファールとする。ただし、1人のプレーヤーが2枚のディスクをキャッチした場合に限り、1枚を味方内野にパスすることはできる。また、外野同士でパスをする場合、必ずコートのいずれかのライン上をディスクが通過するように投げ、ライン上を通過しないパスはファールとする。

- (14) ディスクを持っているプレーヤーがラインを踏んだり越えたりした場合はファールとする。
ディスクを投げるときの前足だけでなく、投げ終わった後に後ろ足が前に出てラインを踏んでもオーバーラインになる（オーバーラインスロー、オーバーラインキャッチ）。相手コートにあるディスク（ライン上も同様）に触れるとファールなる（オーバーコート）。ただし、相手コートで浮いているディスクをキャッチするのはファールとしない（オーバーラインキャッチに違反しない場合）。原則、プレーヤーは必ず自コート内でプレーしなければならない。ファールの判定は審判団に任せ、ファールになるとディスクの所有権は相手チームに移動する。
- (15) その他（上記1～14項目以外）、試合中に不明なことが発生した場合は、その都度、主催者側（執行部）、審判団、両チームの3者で協議の上、判断する。
- (16) 審判団は各チームより2名選出し、予選リーグでは、必ず次の試合チームが審判団となり、決勝トーナメントでは、試合を行わないチームより選出する（主催者側より連絡あり）。審判団は、主審1名、副審1名、線審2名とし、必ず試合が始まるまでに該当チームで担当を決めておく。
- (17) 予選リーグで同勝敗（1勝1敗）の場合は、1セットマッチ（5分）で勝敗を決める。また、3チーム以上が同勝敗の場合は、残り人数の多い順で判断し、上位2チームによる1セットマッチで勝敗を決める。
- (18) 選手宣誓は、組合せ抽選で「1番クジ」を引いたチームの代表者が行う。

【注意事項】

- (1) 組合員とその家族の参加は認める（ただし、組合未加入者の方の参加については、組織拡大を目的としている場合のみ特別に参加を認める）。
- (2) 競技場内では「競技場使用の注意」に従って良識ある行動をとる。
- (3) タバコの後始末、ゴミ類等は各支部で責任を持って持ち帰ること（ゴミ袋は各支部で準備してくる）。
- (4) 各支部で救急用具を用意すること。なお、大会には全労済の行事スポット共済を掛けているので、ケガ等をした場合は必ず大会事務局まで報告すること（自宅を出発してから帰宅するまで。交通事故等含む）。

※今後の会議等でルール等の変更が生じた場合は、分かり次第ご連絡いたします。